**チーム分けのテーマについて**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **テーマ** | **詳細** | **関連ワード例** |
| ①  エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 日本は2050年までにCO2排出量を80％減らし、脱炭素社会を今世紀後半のできるだけ早くに実現するとしています。しかし、そのためには、再生可能エネルギーや電気自動車・燃料電池自動車の普及を徹底させるなど、大きな技術の進歩と社会の変革が必要です。  加えて、脱炭素社会を実現させるには、電気を極力使わないライフスタイルを確立する必要もあります。  このテーマでは、2025年万博において新技術を広め、社会に変革をもたらすためには、どんなアイデアの見せ方をしたらいいかを考えます。 | #低炭素　#脱炭素　#CO2削減　#化石燃料　　#水素エネルギー　#新エネルギー　#EV　#FCV　#人工光合成 |
| ②  住み続けられるまちづくりを | 世界では、アジアやアフリカのように都市人口が増えている地域と、日本のように都市は仕事をする場所で、生活をするのは郊外という傾向の地域があります。  しかし、郊外化には移動エネルギーの増大や、コミュニティの希薄化などの問題があります。通勤ラッシュ、地域の見守り機能の低下、高齢者の自動車事故などが例に挙げられます。  今後人口が増える都市も減る都市も、1000年続くまちになるためには、どんな仕組みや技術が必要でしょうか？  このテーマでは、それらのアイデアと2025年万博ではどのような社会実験ができるかを考えます。 | #スマートシティ　#スマートモビリティ　#自動運転　#ICT　#郊外化　#産業空洞化　#人口動態　#都市環境　#自然共生　#防災　#減災　#インフラ整備　#クリーンな交通 |
| ③  つくる責任  つかう責任 | 過去50年間で、世界の人口は2倍になり、資源の利用量は3倍になりました。また、天然資源の採掘と加工は、生物多様性を損ない、水不足や気候変動の原因となっています。  一方、国内の需要を満たすために消費される天然資源量は、高所得国が低所得国の13倍以上と大きく不平等な状況です。  加えて、プラスチックや食品の大量生産大量消費の課題もあります。  このテーマでは、2005年愛知万博で取り組まれた17種分別やもったいない精神より、さらに先を見据えた、資源の効率利用や循環型経済のモデルを、2025年万博ではどのように体現するかを考えます。 | #資源効率(RE)　#サーキュラーエコノミー（循環型経済）　#マテリアルフットプリント　#水ストレス　　#淡水化技術　#海洋プラスチックごみ　#3R　#フードロス |
| **テーマ** | **詳細** | **関連ワード例** |
| ④  海の豊かさを守ろう  陸の豊かさも守ろう | 自然は、私たちの生活に必要な食料や水など、さまざまな恵みをもたらすほか、金属や化石燃料をもたらす大切な資源です。しかし、近年その破壊や汚染が進んでいます。  生活や経済の基盤である、森林、土壌、水、大気、生物などの「自然資本」を、この先も持続的に利用するにはどうしたらいいのでしょうか？  2025年万博の会場は人工島ですが、会場に運び込まれるさまざまな「物」によって、自然資本と繋がっています。このテーマでは、「物」を生産し消費する社会の中で、自然資本が、持続的な関係になるには、どのようなアイデアを万博で提案できるか考えます。 | #里山資本主義　#里山イニシアチブ　#地域循環共生圏　#生物多様性　#グリーン経済　#生態系サービス　#サプライチェーン |
| ⑤  ローカルからグローバルへ、グローバルからローカルへ行動しよう | スウェーデンの16歳の少女グレタ・トゥーンベリさんが始めた、毎週金曜日の温暖化対策運動は、SNSを通じて全世界の若者に広がりました。  他にもさまざまな環境問題に対する地域の小さな活動が、Webを通じて世界中に共有・拡散され、企業や政治を動かしつつあります。  「万博×環境　未来を描こうプロジェクト」の元となった、大阪府民会議の学生エコチャレンジミーティングも、環境のための行動を地域に広げることを目的として意見交換と発信を行ってきました。  このテーマでは、エコチャレンジミーティングの、地域の活動を世界に広げる、あるいは、世界的ムーブメントを地域での行動に落とし込む活動を土台に、2025年万博から地域と世界に発信するメッセージについて考えます。 | #エコチャレンジミーティング　#グレタ・トゥーンベリ　#グローバル気候マーチ　#パートナーシップ |